

第4回全国500歳野球大会実施細則

- 1 選手 の 登 録 チームの登録は、チーム代表者(部長)、監督、コーチ、主将、マネージャー、スコアラーを含む30人以内の選手等とし、ベンチに入れる人員も同様とする。ユニホームを着用しない登録者に関しては、年齢・性別を問わない。
- 2 ベンチ及び攻守 (1) 組み合わせ番号の若い番号のチームを一塁側とし、攻守は当該試合の球審の立会のもと、トスで攻守を決定する。

打順表は、大会本部で配布(代表会議で全チームへ配布。二回戦以降は試合終了後勝利チームに配布する。)するものを使用することとし、第一試合においては試合開始30分前までに本部に提出し、照合を受けるものとする。

第二試合以降は本部にチーム到着の旨を告げ、本部の指示を受けるものとする。なお、試合開始時刻になっても到着の連絡がないチームは原則として棄権とみなす。
- 3 試 合 形 式 (1) 本戦は7イニング制のトーナメント方式とし、1時間50分を超えて新しいイニングに入らない。また、5回以降10点差によるコールドゲームを適用する。ただし、決勝戦は時間制限、コールドゲームを適用しない。

(2) 7回終了時または1時間50分経過時点で同点の場合はタイ・ブレイクを適用する。タイ・ブレイクは一死満塁で行い、打順は任意とし、走者は打者の逆順とする。打順は開始前に双方の監督、審判立会の上決定し、次回以降は前イニング終了後からの継続打順とする。(決勝戦は7回終了時点で同点の場合、適用する。)

(3) 本戦1回戦敗退チームを対象に交流戦を実施する。ただし、秋田県内チームは対象としない。交流戦参戦チームは大会初日午後3時30分まで大会事務局へ申し出るものとする。交流戦は5イニング制とし、1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。同点の場合は、引き分けとする。(コールドゲーム、タイ・ブレイクは適用しない。)

(4) 競技場区画は投手～本塁間16m。塁間23m。両翼～本塁間80m、中堅～本塁間90m。バッターボックス区画やベース類は一般用のものを用いる。

(5) 投手、野手にこだわらず1度ゲームを退いても、何度でも出場できる。ただし、投手がイニングの途中で退いた場合、同イニングでの再登板は認められない。

(6) 55歳までの投手が投球出来るのは、アウトカウント12を取るまでとし、56歳以上の投手に制限は設けない。ただし、タイ・ブレイクに至った場合は年齢制限を除外する。

(7) タイムの制限:「監督またはコーチが投手の所へ行く回数」、「守備側」、「攻撃側」が1試合中に要求できるタイムは、それぞれ3回までとする。なお、タイブレーク時は2イニングに1回要求することができる。野手(捕手も含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督またはコーチが行けば双方1度として数え、逆の場合も同様とする。

(8) 試合の規則は「全国・全県500・550歳野球大会特別ルールブックvol.2」を適用する。

